



港区立小中一貫教育校

白金の丘

白金の丘小学校・白金の丘中学校

令和7年10月3日

第6号

教育目標

- 相手を思いやり 礼節ある人
- 自ら学び 自ら考え 自ら行動する人
- よく運動し 強い心と健康なからだをつくる人

Tel: 小学校 3441-5363 中学校 3441-5361 Fax: 小学校 3441-0762 中学校 3441-0761
Email: sirokanenooka-ej@minato-tky.ed.jp HP: <https://sirokanenooka-ej.minato-tky.ed.jp>

「事実」と「真実」から

校長 篠崎 玲子

「真実は、いつも1つ!」みなさんは、このセリフを耳にしたことはありますか?

これは、日本の人気アニメの主人公が、決め台詞の1つとして、発している言葉です。私はこの言葉を聞いた際に「真実」とは何のことをいうのだろうか?また、「事実」との違いがあるのだろうか?と日常生活で何気なく使用している言語であるのですが、気になり、改めて調べてみました。

「事実」:実際に起こった出来事や、検証可能な客観性の高い事柄のこと。

「真実」:絶対的な正しさや信念を伴う主観的・本質的な概念のこと。

個人の解釈によって内容が異なることがある。

小学生のみなさんには少し難しい事柄かもしれませんが、上記の意味を踏まえ、集団生活を送る学園において考えると、どんなに大人数がいても「事実は1つ」であり、その「事実」に対して、かわる人の数だけ「真実」があるということになります。

これを社会生活で考えると、学園生活に増して、様々な課題やトラブルに直面することがあります。その際に、1つの事柄に対して、「事実」は1つではあるが、その事柄にかかわっている人の数だけ、思いや考えが生じます。その思いや考えは、「真実」と同じで、複数存在することになります。

ここで、私が言いたいことは、「事実」を理解した上で、それぞれの思いや考えにまで気をめぐらし、どのように和解や仲直り、今後に向けての行動に生かしていくのかを一人ひとりに考えてほしいということです。

起きてしまった事象に対して、「事実」は受け止めることはもとより、他者の「真実」(思いや考え)、つまり、「事実」も「真実」も大切にしたい行動をとってほしいと願っています。そうすることで、自分も他者も大切にすることができると考えます。

2学期は、たくさんの行事や学習活動があります。仲間と協力しながら、素晴らしい学びを創出するためにも、これらのことを踏まえて、取り組んでいきましょう。

保護者・地域の皆様、これからも教職員、児童・生徒が一丸となって様々な学習や行事に取り組んでまいります。ぜひご来校いただき、ご支援をいただければと思います。

開校10周年バルーンリリースについて

平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本校は本年 6 月、開校 10 周年という大きな節目を迎えました。これを記念して、下記のとおり白金の丘学園の児童生徒がお祝いの気持ちを込めた「バルーンリリース」を行います。

記

【日時】

令和7年10月 6日(月) 午後1時5分 ～ 2時5分

※予備日10月28日(火) 午後1時5分 ～ 2時5分

【場所】

白金の丘学園 校庭

【その他】

- ・バルーンリリースに使用する風船、紐、メッセージカードは、すべて土に還る環境に配慮した素材を使用しています。
- ・風船に使用するヘリウムガスは、自然大気中に存在する気体であり無害です。
- ・バルーンリリース実施の旨、国土交通省に連絡を入れています。

【9年生 修学旅行の様子】



【小学生 秋のスポーツフェスの様子】

